

令和5年度東京都中央ろう学校 中学部年間指導計画

学部	中学部	学年	1	週時数	4
教科	英語	グループ名	G		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を通じて、言語や文化に対する興味を深める。 ・外国語を通じて、コミュニケーションを図る力を伸ばす。 				
担当教員	下野 正恵				
年間授業時数	140				
使用教科書	「NEW HORIZON 1」東京書籍				
副教材等	「英語のたてよこドリル1年」 正進社、「NEW HORIZON ENGLISH Course WORK BOOK 1」 東京書籍、「中1英語をひとつひとつわかりやすく」学研、英和・和英辞典、デジタル教科書、教科書準拠DVD、自主作成プリント等				

学習計画

月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	Unit0 Unit1 New School, New Friends	7	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った英語表現やアルファベットの音と文字の理解をもとに、あいさつや好きなものを伝え合ったり、アルファベットの音を聞いて文字がわかり、声に出して単語を読んだりする技能を身につけている。 ・小学校英語の振り返り <あいさつ、教室英語、身の回りのもの、数字、序数、曜日、月日、食べ物、スポーツ、学期> ・アルファベットの大文字と小文字、単語を書く。自分や友達の名を書く。 ・英語の指文字を覚える。授業での約束事の確認、勉強の仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間内は電子黒板やホワイトボードを活用する。文法説明や補充問題のためにプリント適宜配布し、専用のファイルに保管して、間違えやすい箇所を確認しやすいようにする。
	Unit 2 Our New Teacher Grammar for communication1	16	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの音を聞いて文字がわかり、単語を読んだり、単語語や短い文を書いたりする技能を身につけている。 ・名前や好きなものなどについて、be動詞や一般動詞を用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・出身地や好きなスポーツなどについて、be動詞や一般動詞を用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。 ・できることやできないことについて、助動詞canなどを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項やキーワードは文字カードを作成し、繰り返しホワイトボードに貼って活用することで理解の定着に繋げる。
	Unit 3 Club Activities Grammar for communication2	14	<ul style="list-style-type: none"> ・場所や日時について、疑問詞whereやwhenなどを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・したいことや夢について、I want to ... の文などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・相手の持ち物などについて、How many ...? の文などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・知りたい時刻について、What time ...? の文などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・ものの数などに合わせて、名詞を正しい形で用いる技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の予習を宿題にして、事前に本文の意味を授業用のノートに持参する。授業中は間違えた箇所をノートに加筆し訂正する。授業で取り扱った範囲を問題集で復習することも、帰宅後の課題として毎時間取り組むことで、深い学びと理解の定着を図る。
	Unit4 Friends in New Zealand Grammar for communication 3	11	<ul style="list-style-type: none"> ・知りたい時刻について、What time ...? の文などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・相手が好きなものについて、What + 名詞 ...? の文などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・たずねたい内容に応じて、疑問詞を正しく使い分ける技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を有効的に活用していく。ロイロノートなどを活用して英作文の発表、調べ学習などに役立てる。
	Unit 5 A Japanese Summer Festival	18	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの場所や人の位置について、場所を表す前置詞などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・自分が好きなことや楽しんでること、得意なことについて、自分の気持ちや考えを、like [enjoy] ...ing, be good at ...ingなどを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 ・自分が体験したことについて、動詞の過去形などを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。 	
後期	Unit6 A Speech about My Brother Grammar for communication 4	13	<ul style="list-style-type: none"> ・家族などについて名前や得意なことを話したり、家族などが好きなことを聞き取ったりする技能を身につけている。 ・家族や身近な人に関するスピーチについて、どのような人かの情報を、三人称単数現在形の肯定文などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・三人称単数現在形などを用いて、家族などについての対話の内容を理解したり、友達などがすることについてたずねたり、書いたりする技能を身につけている。 ・家族や身近な人に関するスピーチについて、どのような人かの情報を、三人称単数現在形の肯定文や否定文などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・三人称単数現在形などを用いて、友達などについて話されるスピーチの内容を聞き取ったり、友達の趣味などについてたずね合い、わかったことを整理して書いたりする技能を身につけている。 	
	Unit7 Foreign Artists in Japan Grammar for communication 5	12	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手以外の人が何をやるか聞き取ったり、その人についてたずねたり答えたりする技能を身につけている。 ・自分と相手以外の人について、その人がどのような人であるかを、代名詞などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・文化や言葉、食べ物などについて、それがどのようなものかを、疑問詞whichなどを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・代名詞や疑問詞whichなどを用いて、人について話される内容を聞き取ったり、やり取りをしたり書いたりする技能を身につけている。 	
	Unit8 A Surprise Party	13	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日にほしいものをたずねたり答えたり、相手が今していることを聞き取ったりする技能を身につけている。 ・今していることについて、現在進行形などを用いて、人の動作を理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・今していることについて、現在進行形の疑問文などを用いて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。 ・今していることについて、現在進行形などを用いて、たずねたり答えたり、その状況を書いたりする技能を身につけている。 ・自分や相手の気持ちについて、感嘆文などを用いて、感動や驚きを理解したり伝えたりする技能を身につけている。 	
	Unit9 Think Globally, Act Locally Grammar for communication6	12	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供たちなどが今していることや、自分たちがしたいことをたずね合ったり聞き取ったりする技能を身につけている。 ・将来の夢や希望について、したいことやしようとしていることを、不定詞(名詞的用法)などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・相手の希望について、したいことやする必要のあることを、不定詞(名詞的用法)などを用いて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。 ・人やものの様子について、話し手の視覚的な判断を、(look + 形容詞)の文などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・行きたい国とそこでしたいことについて、おたがいの考えを、不定詞(名詞的用法)などを用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。 	
	Unit10 Winter Vacation	11	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年していることや、過去の出来事について、たずね合ったり聞き取ったりする技能を身につけている。 ・過去にしたことについて、旅行に行ったときのことなどを、規則動詞の過去形などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・過去にしたことについて、見たり食べたりしたことなどを、不規則動詞の過去形などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・最近の出来事について、自分がしたことを、過去形などを用いて伝え合う技能を身につけている。 ・過去にしたことについて、冬休みの思い出などを、過去形の疑問文などを用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。 	
	Unit11 This Year's Memories Grammar for communication 7	10	<ul style="list-style-type: none"> ・一年の思い出について、したことを伝え合ったりそのときの状態や気持ちを聞き取ったりする技能を身につけている。 ・一年の思い出について、過去の状態や気持ちを、be動詞の過去形などを用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。 ・ある場所に何かがあるという話題について、There is [are] ... の文などを用いて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。 ・自分の町にある施設について、There is [are] ... の文などを用いてたずねたり、説明する技能を身につけている。 ・過去のある時点にしていたことについて、過去進行形などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 	
3	まとめ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の総復習<物語> ・文章構成の理解をもとに、物語のあらすじを聞き取ったり読み取ったりする技能を身につけている。 ・時間の経過や場面の変化を捉えた読み方の知識をもとに、登場人物の心情などを読み取る技能を身につけている。 	

令和5年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1	週時数	4
教科	国語	グループ名	G		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ・漢字の読み書きの力と語彙の拡充を図る。 				
担当教員	森永由佳（週3時間/主に「国語」教科書の単元） 神田雅史（週1時間/主に文法、書写等）				
年間授業時数	140				
使用教科書	「中学国語1」教育出版、「中学書写」教育出版				
副教材等	「国語便覧」浜島書店、「楽しく学ぼう！すらすら基本文法」浜島書店、「新・基礎の学習 国語1年」新学社、「学習漢字ノート」浜島書店、「サマーアプローチ国語1年」教育同人社、「中学基礎がため100%できた！中1国語[読解]」くもん出版、国語辞典、電子黒板、自主作成プリント等				

学 習 計 画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4	・「ふしぎ」 ・「桜蝶」 ・文法 ・書写「硬筆」	13 (2) (5)	・「ふしぎ」の魅力について考える。 ・文学作品の構成や展開を、描写をもとに理解する。 ・文章と段落、主語と述語、文節と単語の理解を深める。 ・楷書の基本点画と配置を理解して書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。 ・考えたこと、思ったことを文章で表現する機会を多く設定する。 ・ICT機器の効果的な活用を図る。
	5	・「自分の脳を知っていますか」 ・漢字の部首 ・文法	13 (1)	・文章の中心部分を捉え構成を理解する。 ・漢字の部首についての理解を深める。 ・修飾語、接続語、独立語の理解を深める。	
	6	・「ベンチ」 ・文法	17 (1)	・情報の集め方を理解し、活用するための方法を身につける。 ・連文節、並立の関係、補助の関係を理解を深める。	
	7	・「全ては編集されている」 ・画数と活字の字体 ・書写「毛筆」	12 (5)	・「情報の扱い」を理解し、筆者の主張をまとめる。 ・画数と活字の字体についての理解を深める。 ・楷書の基本点画の筆使いを理解して書く。	
	9	・『「エシカル」に生きよう』 ・「森には魔法使いがいる」 ・文法	15 (2)	・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 ・論理展開を捉えて読みを深める。 ・文をつなぐ言葉の理解を深める。	
後期	10	・古文「桃太郎」 ・古文「竹取物語」 ・漢文「故事成語」 ・文法	10 (2)	・古典の仮名遣いを知る。 ・古典の言葉と現代語のつながりを知る。 ・漢文訓読のきまりを理解する。 ・自立語と付属語、活用、品詞の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。 ・考えたこと、思ったことを文章で表現する機会を多く設定する。 ・ICT機器の効果的な活用を図る。
	11	・「蜘蛛の糸」 ・「河童と蛙」 ・「オツベルと象」 ・文法	14 (2)	・近代文学の読み方について理解する。 ・オノマトペの効果について理解する。 ・場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ・名詞と代名詞の理解を深める。	
	12	・「子どもの権利」 ・漢字の音と訓 ・文法	12 (1)	・論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ・漢字の音と訓についての理解を深める。 ・副詞と連体詞の理解を深める。	
	1	・言葉がつなぐ世界遺産 ・書写「硬筆」「毛筆」	12 (5)	・事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ・文字の配列を理解して書き初めを書く。	
	2	・漫画で「物語」を表現する ・熟語の構成 ・文法	10 (1)	・漫画の表現の特徴について理解する。 ・熟語の構成の基本的な型を知る。 ・接続詞と感動詞の理解を深める。	
	3	・少年の日の思い出 ・書写「硬筆」「毛筆」	12 (5)	・語り手や描写に着目して作品を読む。 ・行書の筆使いを意識して書く	

令和5年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	1	週時数	4
教科	数学	グループ名	G		
ねらい	(1)数量や図形などに関する基礎的な概念や法則を学び、理解する。 (2)数学的な表現や処理の仕方を習得し、興味・関心をもって課題に取り組むことができる。				
担当教員	渡部 遥、齋藤 孝男				
年間授業時数	140				
使用教科書	教育出版「中学数学1」				
副教材等	正進社「数学の学習ノート1年」 日本教育出版「毎日の計算トレーニング BOOK1」				

学 習 計 画

	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	整数の性質	4	・素数と素因数分解 ・素因数分解の活用	1. 情報機器を活用する。(電子黒板・デジタル教科書・PCなど) 2. 重要事項をホワイトボードに短冊、模造紙を貼る等、視覚的情報に配慮し、構成された板書にする。 3. 日常生活の例を挙げ、興味・関心を高めるように支援する。 4. 家庭学習の習慣化を図るため、宿題を出す。 5. 学習の定着を図るため、練習問題や小テストを多く取り入れる。 6. 授業後に学習内容を自ら振り返ることができるようなプリント(ワークシート)やノート作りを行う。
	5	正の数, 負の数 1. 正の数, 負の数 2. 加法と減法 3. 乗法と除法 4. 正負の数の活用	26	・符号の付いた数 ・数の大小 ・加法 ・減法 ・加法と減法の混じった式の計算 ・乗法 ・除法 ・四則の混じった式の計算 ・正の数, 負の数の活用	
	6	文字と式 1. 文字を使った式 2. 文字を使った式の計算 3. 文字を使った式の活用 4. 数量の関係を表す式	20	・文字の使用 ・式の表し方 ・数量の表し方 ・式の値 ・式の読みとり ・項と係数 ・1次式の加法, 減法 ・1次式と数の乗法, 除法 ・文字を使った式の活用 ・数量の関係を表す式	
	7	方程式 1. 方程式とその解き方 2. 方程式の活用	20	・方程式とその解 ・等式の性質 ・方程式の解き方 ・いろいろな方程式 ・方程式の活用 ・比例式とその活用	
	9	比例と反比例 1. 関数 2. 比例 3. 反比例 4. 比例と反比例の活用	20	・関数 ・比例の式 ・座標 ・比例のグラフ ・反比例の式 ・反比例のグラフ ・比例と反比例の活用	
後期	10	平面図形 1. 平面図形の基礎 2. 作図 3. 図形の移動 4. 円とおうぎ形の計量	20	・点と直線 ・円 ・基本の作図 ・いろいろな作図 ・図形の移動 ・円の周の長さと同面積 ・おうぎ形の弧の長さと同面積	
	11	空間図形 1. 空間図形の基礎 2. 立体の見方と調べ方 3. 立体の体積と表面積	20	・いろいろな立体 ・直線と平面 ・点や面を動かしてできる立体 ・立体の表し方 ・立体の体積 ・立体の表面積	
	1	データの分析 1. 度数の分布 2. データの活用	10	・度数の分布 ・散らばりと代表値 ・相対度数 ・累積度数 ・ことごらの起こりやすさ	
	2				
	3				